

(2) 粗大ごみはごみ質により処理の流れが異なります

粗大ごみは、中央防波堤内側埋立地にある粗大ごみ破碎処理施設で処理します。粗大ごみは、可燃系と不燃系に分けた後に破碎します。また、破碎処理後に鉄分を選別し、資源として回収しています。さらに、焼却できるものは清掃工場で焼却処理しています。

粗大ごみの処理過程



受入ヤード(可燃系粗大ごみ)



(不燃系粗大ごみ)

木製家具などの可燃系の粗大ごみと自転車などの不燃系の粗大ごみに選別します。

選別は、区の粗大ごみ中継所と粗大ごみ破碎処理施設の受入ヤードで、手作業で行います。

回転式破碎機
(縦軸)の内部



選別作業を終えた粗大ごみを一辺の長さ15cm以下に破碎します。その後、磁選機で鉄分を選別し回収します。



破碎された粗大ごみ



回収した鉄

破碎処理した後の粗大ごみの残さは、焼却できるものは清掃工場で焼却処理し、焼却に適さないものは埋立処分します。

焼却できる残さ

清掃工場で焼却

焼却に適さない残さ

焼却灰・飛灰

焼却灰

埋立処分場

民間セメント工場
でセメント原料化
灰溶融施設でスラグ化